

同窓会報

発行
愛知県立渥美農業高等学校
同窓会事務局
TEL 0531-22-0406
FAX 0531-22-6462

同窓会長あいさつ



同窓会長 河邊 勝己

同窓会員の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は同窓会活動に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成十五年度の同窓会理事会及び総会が五月二十五日渥美農業高校会議室にて開催されました。本年度は役員改選の年ですが、また二期目でもありませんので全員が留任ということで了承されましたことを、まずご報告申し上げます。渥美農業高校発展のために、微力ながら役員一同努力いたしますので、

渥美農高の近況報告



校長 中村 勝

渥美農業高等学校同窓生の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育のために御支援と御協力を賜り感謝申し上げます。

学校教育としては「ゆとり教育」が叫ばれている現在、生徒が自ら学び、自ら考え、自ら解決する「生きる力」を培うように目標を定めております。生徒に基礎・基本となる学力を定着させることは言うまでもありません。

自ら学ぶ力を身につけさせるために

皆様の益々のご協力をお願い申し上げます。

さて、同窓生・P.T.A.地域の方々のご理解により始まった国際交流事業も本年で第六回目の派遣研修となりました。この間、延べ人数にして本校生徒六十名、職員十四名、同窓会・P.T.A.等四十七名の方々がオランダを訪れていました。またオランダからも生徒五十一名、職員等三十三名、P.T.A.関係十五名(七月末現在)が来校しています。このように、この事業も同窓会と学校が一体となつてすすむ、ウエラントカレッジとの交流の輪は益々広がり、一層強い絆がうまれてきています。これも日頃の先生方の努力が成果となつております。特に引率して下さる先生には出発前の事前研修から研修報告書作成まで大変ご苦労をおかけし、頭が下がります。

派遣研修で毎回感じることは、豊橋駅で見送った時より、帰ってきた生徒がひとまわり大きく見え、自信に満ちた体験から学ぶ力があるかどうかであると言われています。学校の実験実習で「なぜ」「なるほど」「こうする」「これでは」と常に考えられる人が生涯成長し続ける人間だと言われています。本校の体験を主体とする教育が、これから求められる人材育成には大変適しているものと確信しております。

本年度、第六回派遣研修として四月十四日から十名の生徒をオランダ姉妹校ウエラントカレッジへ派遣しました。イラク戦争やS.A.R.S.の流行で実施が心配されましたが、無事終了することができました。派遣生徒数はこれで延べ六十名となりました。

六月四日から六日まで生活科学科三年生の第三十五回農家宿泊実習が豊橋市高豊地区の農家十九戸で実施されました。この行事は一市三町の農家の皆さんの御協力で行われ、本年度で延べ

六十名となりました。

ていっていることとです。研修には各々がテーマを持って出発し、言葉や生活の不安の中で、お互いの生徒が気遣い、研修を通して信頼が生まれる様子は研修報告書からも窺われます。大変素晴らしいことだと思えます。また保護者の方からも「前向きになった」とか「帰国後も手紙やメールで交流を続けている」等のお話も伺っております。参加した生徒達はその思いを次の人に、また研修の成果を学校全体に反映していただくことを期待しています。

九月二十九日から十月六日までウエラントカレッジの生徒を迎え入れ、また皆さんの地域にゆかり、お世話になる機会があるかもしれません。そんな時はよろしくお願いいたします。最後に、同窓会員皆様のご活躍を祈念いたしますと共に、今後変わらぬご支援をお願いいたします。

千戸の農家のお世話になったことになり、今更ながら地域の支えの大きさを実感し感謝しております。

本年度の生徒の活躍も報告します。部活動では陸上部で十一名の県大会出場者があり、卓球部も男子四名、女子三名が県大会に駒を進めることになりました。他の運動部も意欲的に部活動に励み活気が増してまいりました。

農業クラブ活動では農業情報処理競技で全国大会(秋田県)出場を決めています。測量競技会でも県大会優秀に入賞いたしました。今後、他の競技会でも活躍が期待されます。

本館棟の外壁等改修工事が本年度予定され、窓のアルミサッシ化と外壁修繕が予定されております。最後に同窓会員の皆様方の御活躍と御発展を祈念し、あわせて本校への御支援をお願いし近況報告といたします。

第六回 姉妹校派遣研修報告

一、期 日
平成十五年四月十四日(月)～四月二十五日(金)

二、派遣団員

生徒	農業科 三年 花井 裕紀	施設園芸科 二年 大場 洋毅	石倉 拓也	田合 将司	太田 憲吾
職員	生活科学科 二年 中村 綾子	英語(教諭) 本多 正樹	英語(教諭) 林 香織	河 徹郎	田 憲吾

三、研修日程と内容

- 四月十四日(月) 日本出発の日
六時三〇分 豊橋駅集合 ひかり292号にて東京・成田国際空港へ
十二時二〇分 JAL411便シベリア周りにてオランダへ
(日本とオランダの時差サマタイムで七時間の為、同日午後到着)
十七時〇〇分 スキポール空港着、姉妹校職員の出迎えを受け、そのままホテルへ
四月十五日(火) オランダ国内研修(時差ぼけ解消を兼ねる)
姉妹校職員案内で終日研修、テューリップランド、球根農場、ゼーセン・スカンス(風車群)、科学館見学 ホテル泊
- 四月十六日(水) ペア学習開始、ライスワイク校訪問
開講式、ペア生徒紹介・挨拶、学内見学、フラワーアレンジメント授業実施、スポーツ交流、ホストファミリーによる歓迎会、本日からホームステイ開始
- 四月十七日(木) ウースフェイスト校訪問
学内見学、アニマルケアの授業を受け、その後乳牛牧場見学、ウースフェイスト町公式訪問、バラ鉢物農家見学研修 ホームステイ泊
- 四月十八日(金) 聖なる金曜日・休日 草花栽培・流通に関する研修日
早朝、フラワーオークション見学 草花栽培・流通に関する研修日
早朝、フラワーオークション見学 ホームステイ泊
- 四月十九日(土) 終日アムステルダム研修日
ライデン駅より電車でアムステルダム駅まで移動。市内散策、運河・跳ね橋見学、市庁舎にて水位計により現在位置が水面下であることを確認。運河をボートで移動し、フリマーケット見学など。アムステルダム駅より電車にてホームステイ先へ
- 四月二十一日(日) 聖なる月曜日・休日
この二日間は、ホームステイ先にて対応してもらいます。生徒は、デンハーグのマドロダム(ミニチュアタウン)やスヘフェニンゲン(リゾート海岸)ヘグループで見学に出かけたりしていた。
- 四月二十二日(火) ライスワイク校で研修
ビデオ学習・ガーデニング実習、研修報告用パネルをペア生徒で作成。その後、オランダの水の関いの歴史を知るため水門見学。ホームステイ泊
- 四月二十三日(水) 現場体験実習の日
ペア生徒同士で現場実習参加。花の仲介業者で花束作り、フラワーショップ、種苗会社、ガーデナー実習等それぞれに体験。夕方、さよならパーティ(ライスワイク校食堂にて) ホームステイ最後の日
- 四月二十四日(木) ベルギー訪問、国境通過体験
アントワープ訪問。国境は、日本の県境並みに成っておりバスで素通り。ノートルダム大聖堂訪問。午後スキポール空港に帰ってきて、最後の別れ。日本へ。

四、所感

本校のオランダへの姉妹校派遣も今回で六回目を迎えました。延べで、六十名の生徒がオランダの地に学んだことになりました。研修に参加した生徒たちは、かの地で数多くの得がたい体験をしてきています。異国で、生活習慣も文化も違う家庭に一人でホームステイするのは、大変な重荷に感じることがありますが、その中で得た経験は彼らの一生の宝物になるものと確信しています。このような機会を与えていただいた同窓会はじめ皆様に感謝申し上げます。



ガーデニング実習風景



オランダ姉妹校派遣研修

戦中、戦後の日本農業と私

愛知みなみ農業協同組合
組合長 岡本 勝

昭和十一年二月二十六日、二・二六事件の起きた年です。私の生れた年でもありません。もちろん、私には記憶はありませんが、日本が軍国主義の道を加速した年でもありました。

昭和十九年、二十年の国民学校三、四年生の頃は勉強どころではありませんでした。戦乱と食糧確保、生活自衛のための毎日でした。子どもだった私たちも農業を手伝い、労働生産に励んだものです。昭和十七年に食糧管理法が公布され、食料の配給制が始まり、自家生産の米、麦、イモ、ジャガイモもすべて国に拠出しました。昭和二十年八月十五日、日本は戦争に負けました。正午校庭に集合、天皇陛下の「玉音」が流れた。「朕、深く世界の…」私には何の意味もわからないままありましたが、後になつて戦争に負けたことを知り、後、低学年の時そんな世相でした。

中学校を卒業する時、先生に進路を聞かれ、私は家に居て農業をしようと言ったら、担任の先生に強く叱られました。「渥美農高が開校した、農高へ行つて勉強しろ。後、梅先に立たずだ」と無理矢理、農高に入学させられました。しかし今は先生に大変感謝しています。

渥美半島は全国でも有数の農業生産地になりました。このことは豊川用水の通水もあり、立地条件にも恵まれていることでもあります。それ以上に渥美農高が設立された若者が勉強に励み、真剣に農業に取り組みできたからだと思います。渥美農高の人材育成が渥美半島の農業発展に、大きく寄与してきたことは改めて言うまでもありません。私は昭和二十九年第三回の卒業ですが三十三年に農協に入り、十二年間勤務、その後十八年間農業に従事し、平成三年田原町農協の常任理事として勤め、現在に至っています。

農協活動、農政運動にも取り組んでまいりました。この間日本の農業、農政には多くの変遷がありました。最近では食料法の改正、農業基本法の改正、輸入自由化と厳しい対応を強いられつつあります。食料自給率は三十九%にまで下がってしまいました。戦中、戦後の食料難時代を思い浮かべ、農業の大切さをもう一度見直す必要があると思えます。

今後、渥美農高が益々充実発展し、卒業生のご活躍を祈念いたします。



平成14年度決算報告

収入済額 1,208,198円
支出済額 1,131,297円
差引残額 76,901円

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 収入済額, 比較増減. Includes items like 繰越金, 入会金, 寄付金, etc.

【平成14年度 会計監査報告】
過日、平成14年度末までの会計監査を実施いたしました結果、関係諸帳簿及び領収書等よく整備されており通帳等との残高照合したところ、適切に処理されていたので、報告いたします。

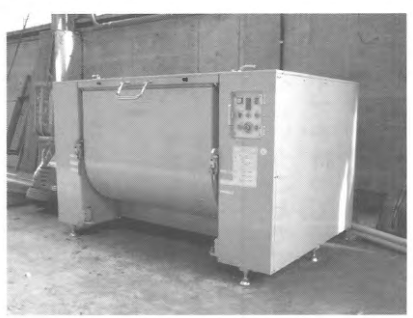
Table with 6 columns: 項目, 当初予算, 流用増減, 流用後予算額, 支出済額, 残額, 摘要. Includes categories like 会議費, 総会費, 役員会議費, etc.

平成十五年 事業計画
四月十四日、第六回姉妹校派遣研修
四月二十五日、十二名(内、生徒十名)
四月二十八日、学校職員歓迎会
五月二十五日、役員会
五月二十五日、理事会・定期総会
八月七日、同窓会報発行(第八号)
九月三十日、ウエントカレッジ(WEC)
十月七日、研修生受け入れ
十月十二日、体育大会参観
十一月十五日、農高祭参観
平成十六年
二月二十七日、同窓会入会式、役員会
三月一日、渥美郡農業振興基金協会
表式式参列
第五十三回卒業式参列

平成十四年度 事業報告
四月二十二日、学校職員歓迎会
五月二十五日、役員会
五月二十五日、定期総会
六月三日、第五回姉妹校(WEC)派遣研修
八月二日、十三名(内生徒十一名)
八月二日、同窓会報発行(第七号)
十月一日、同窓会オランダ研修
十月四日、体育大会参観
十一月五日、ウエントカレッジ(WEC)
十一月十六日、研修生受け入れ
平成十五年
二月二十七日、同窓会入会式、役員会
表式式参列
第五十二回卒業式参列
二月二十八日、表式式参列

Table with 4 columns: 職名, 氏名, 転任の先生, 在職年数. Lists various staff members and their roles.

本会役員(平成十五年)
会長 河邊 勝己(七農)
副会長 彦坂 武政(十一農)
監事 西川 義人(十二農)
特別顧問・顧問・参与(平成十五年)
特別顧問 鈴木 守(六農)
顧問 中村 勝(校長)
参与 藤原 俊雄(事務長)



廃棄物処理装置
タンク容量250
本体重量1000kg



堆肥製造装置
発酵槽全体容積21m³
バケツ容積0.6m³

堆肥製造技術者養成システム
本校では、畜産の糞や尿は開放型の堆肥処理施設によって処理してしま...

同窓会オランダ訪問報告
昨年、同窓会・PTA合同でオランダ姉妹校訪問を中心としたオランダ、ス...

オランダの風に吹かれて
今回のオランダ姉妹校派遣に参加して、私はやはり言葉の壁は大いなもの...

農業クラブ活動成績
七月八日 農業鑑定競技会県大会
七月二十四日 意見発表会県大会
七月二十四日 意見発表会県大会

各部対外競技成績
陸上競技部活動成績
愛知県総合体育大会
愛知県陸上競技選手権大会

卓球部活動成績
愛知県総合体育大会東三河予選会
愛知県新人大会東三河予選会

柔道部活動成績
東三河高等学校重別柔道大会
全三河個人柔道大会

農業クラブ活動成績
七月八日 農業鑑定競技会県大会
七月二十四日 意見発表会県大会
七月二十四日 意見発表会県大会

陸上競技部活動成績
愛知県総合体育大会
愛知県陸上競技選手権大会

毎日農業記録賞(毎日新聞)
【注意を!】事務局より
五十周年記念事業以来、同窓会事務局や本校職員を名乗り、住所や職業等の問い合わせの電話をされている者がいるようです。本校ではそのよう...

卓球部活動成績
愛知県総合体育大会東三河予選会
愛知県新人大会東三河予選会

柔道部活動成績
東三河高等学校重別柔道大会
全三河個人柔道大会

陸上競技部活動成績
愛知県総合体育大会
愛知県陸上競技選手権大会